

第三者意見

環境報告書の信頼性向上に向けて、環境活動で優れた取り組みをされている国立大学法人電気通信大学に環境報告書の内容について意見をいただきました。学外の方から見た本学の環境問題への取り組みや環境報告書の記載内容についての意見を参考に、今後の環境活動や環境報告書作成の改善を図ります。

名古屋工業大学の環境報告書は、環境最高責任者である学長のトップマネジメントのもと、大学の構成員一人一人が地球環境に対する配慮を意識し、産業界や地域社会とともに継続的に環境問題に取り組む重要性を掲げ、キャンパスを取り巻く環境の現状を正しく認識して改善するとともに、環境に関する多様な取組を積極的に行っていることが伺え、幅広いステークホルダーの皆様にはわかりやすく伝わる内容となっています。

2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類感染症」となり、大学活動が本格的に再開されてきた2023年度の総エネルギー投入量が前年度比で減少していることは、高効率空調機への計画的な更新や省エネルギー活動の推進のたまものであり高く評価できます。

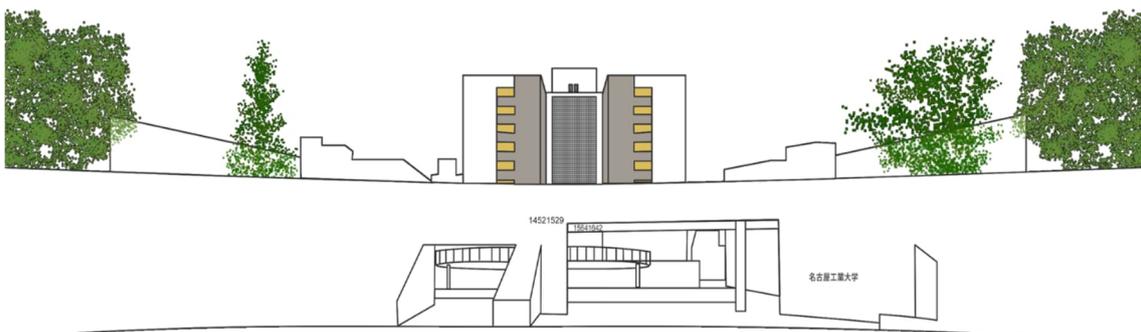
学生フォーミュラ日本大会に2023年度からガソリンエンジン車両から電動車（EV）に転向して参加された名古屋工業大学フォーミュラプロジェクトでは、学生主体の実践的なものづくりの能力を養成し、100年に1度の変革期と言われる自動車業界において活躍できる人材の輩出を目的として掲げており、二酸化炭素を排出しない電動車（EV）の発展への寄与が期待されます。

貴学が掲げる「心で工学」を合言葉に、アートで彩られた「アートフルキャンパス」をプラットフォームとしたリベラルアーツ教育に重点をおいた感性と論理性の両輪を磨き上げる「ひとづくり」の環境整備の推進により、平和で幸福な「未来づくり」の実現に向けて貢献されるとともに、環境配慮活動のさらなる発展を祈念いたします。

2024年9月

電気通信大学理事（総務・財務戦略担当）

環境安全衛生管理センター長 笹井 弘之



監事評価

環境配慮促進法第9条第2項では、「特定事業者は、環境報告書を公表するときは、記載事項等に従ってこれを作成するように努めるほか、自ら環境報告書が記載事項等に従って作成されているかどうかについての評価を行うこと、他の者が行う環境報告書の審査を受けることその他の措置を講ずることにより、環境報告書の信頼性を高めるように努めるものとする。」と定められています。

このことにより、環境報告書の信頼性を高めるために評価を実施しました。

評価報告書

- 1 評価実施者
名古屋工業大学監事 雑賀正浩
同 二村友佳子
- 2 評価実施日
2024年 8月 6日 ~ 同年 8月31日
- 3 評価の対象
国立大学法人名古屋工業大学「環境報告書2024」
- 4 評価の方法
環境配慮促進法、同法第8条に基づく環境報告書の記載事項等（環境省）、及び環境報告ガイドライン2012年版(環境省)を基準として評価しました。
- 5 評価の結果
 - (1) 名古屋工業大学「環境報告書2024」は、上記環境配慮促進法等の評価基準に基づいて作成されており、記載情報及び取組内容の正確性が確認できたことから、適正であると評価しました。
 - (2) 「2. 環境配慮に関する取組状況」の9頁以下のグラフにおいて、今回から、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく「地球温暖化対策基本計画（閣議決定）」がわが国の中期目標として2030年度において温室効果ガスを2013年度から46%削減することを掲げていることに鑑み、2013年度（基準年）と直近5年のデータを掲載するようになりました。
上記目標達成に向けた削減状況をより可視化する工夫として評価することができます。
 - (3) マテリアルバランスにおいて、教育、研究等のために使われたエネルギーや資源の量（投入量）については、全体として削減の傾向が見取れますが、教育、研究等の結果、外部に排出された環境負荷物質や廃棄物の量（排出量）、中でも、実験系廃棄物の量やノルマルヘキサンの大気放出・廃棄量については、むしろ増加の傾向が見られます。
教育・研究活動の活発化とのジレンマがあると思いますが、環境負荷の低減のために、引き続き、それらの適正管理の徹底と、廃棄物発生及び化学物質の使用抑制のための工夫（代替となる溶媒への転換など）を期待したいと思います。
 - (4) これまで「学生環境改善プロジェクト」でその活動が紹介されていた「環境委員会 NEP 部」は、2011年4月に発足以来、活動を続けていましたが、今般、廃止になったと伺いました。自分達の生活の場である学内の環境を自らの手でより良くしようというシンプルで普遍的な活動目標を掲げて、駐輪場の整理整頓、ゴミの分別、講義室や部室の清掃など、身近な所で地道に活動されてきただけに、残念です。学生の皆さんの中から、新しい活動が芽生えることを期待しています。

以上